

(仮称) 開かれた学校づくりの指針 全体像

開かれた学校づくりのコンセプト

開かれた学校づくりを進め、学校・保護者・地域の皆様、みんなのつながりの中で子どもたちの社会性を養い、地域の未来、神戸の未来の担い手となる、心豊かでたくましく生きる神戸っ子を育てます。

開かれた学校づくりに向けた取組の3本柱

- 1 育てたい子どもの姿を保護者・地域の皆様と共有します。
 - ・保護者や地域の皆様と育てたい子どもの姿を共有し、連帯感を持って子どもたちの健やかな育成を図ります。
- 2 保護者・地域の皆様が親しみやすい学校環境をつくります。
 - ・子どもたちにとって安全・安心な学校を築くとともに、保護者や地域の皆様が訪れたいとなる、親しみやすい学校環境をつくります。
- 3 目指す学校づくりに向けた連携と協力活動を進めます。
 - ・目指す学校づくりに向けて、保護者や地域の皆様との関わり合いと連携を深め、神戸っ子応援団等と協力して行う活動を進めます。


現状を踏まえた具現化するためのポイント

□ 囲み内を有識者会議で議論

コミュニティ・スクール
づくりのガイドライン
(事務局)

学校ごとのビジョン又は
グランドデザイン
(学校)

学校ごとの具体的な取組み



開かれた学校づくりに関する有識者会議 配布資料

令和3年12月 神戸市教育委員会



会議開催の背景

○背景

- ▶ 学習指導要領：「社会に開かれた教育課程」の実現
 - ・「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、社会との連携・協働によりその実現を図るとする学習指導要領の理念を踏まえ、学校と地域との協働による学校教育の充実を図る必要
- ▶ 教員間ハラスメント事案に係る再発防止等検討委員会の報告書
学校の閉鎖的な職場風土を改め、学校現場の外部への開放や、開かれた学校づくりを進めていく必要があるとの提言
 - ・コミュニティ・スクール（※）の制度を積極的に活用し、教育活動や学校経営への地域住民や保護者等の参加を促進
 - ・学校活動を支援する様々な外部人材をさらに受け入れるなど、協働を通じて地域社会との関係を深めていく必要
 - ・学校現場に保護者や地域の方が出入りしやすい環境づくり

※学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクールと呼ぶ

取組状況

○コミュニティ・スクールの推進

- ・学校評議員会に代わる形で平成30年度より段階的に学校運営協議会を導入
- ・令和4年度中にすべての小・中学校に学校運営協議会を設置する

【学校運営協議会 設置校数の推移】

	平成30年度	令和3年度	令和4年度中
小学校	7	26	163
中学校	4	24	82
幼・高・特支	3	3	3
計	14	53	248

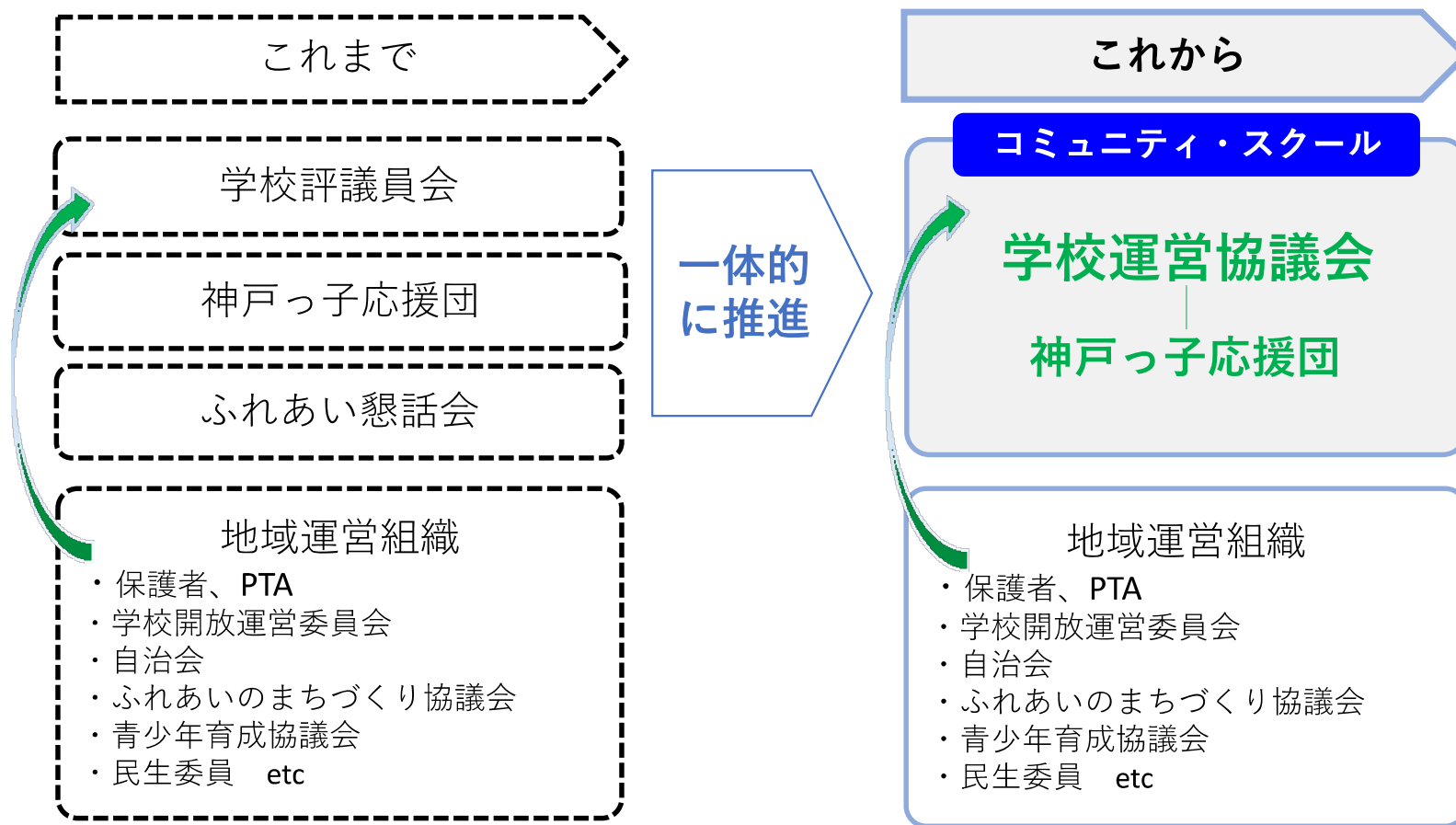
※令和3年12月1日時点

※便宜上、義務教育学校については小・中ダブルカウント



取組状況

○神戸っ子応援団とふれあい懇話会を学校運営協議会と一体的に推進

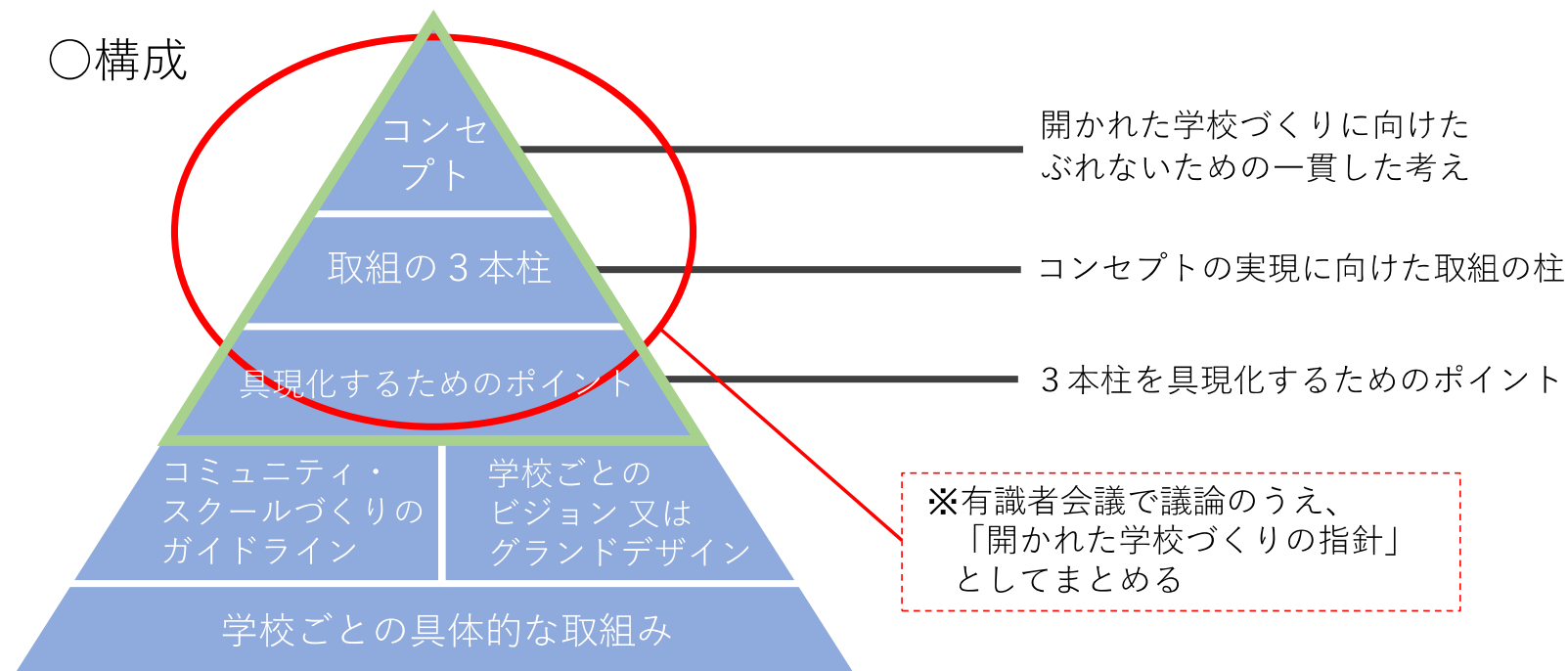


(仮称) 開かれた学校づくりの指針 策定方針及び構成

○策定方針

- ▶ 開かれた学校づくりを進め、地域と一体となった学校教育活動を展開するうえで必要となるコンセプト（理念）やポイントを明文化する。
- ▶ 保護者や地域住民に理解・共感いただける内容とする。
- ▶ シンプルで分かりやすいものとする。

○構成



(仮称) 開かれた学校づくりの指針 全体像

○コンセプト：開かれた学校づくりを進め、学校・保護者・地域の皆様、みんなのつながりの中で子どもたちの社会性を養い、地域の未来、神戸の未来の担い手となる、心豊かにたくましく生きる神戸っ子を育てます。

○取組の3本柱：

1 育てたい子どもの姿の共有

保護者・地域の皆様と育てたい子どもの姿を共有し、連帯感を持って子どもたちの健やかな育成を図ります。

活動を具現化するためのポイント

2 保護者・地域住民が親しみやすい学校環境づくり

子どもたちにとって安全・安心な学校を築くとともに、保護者や地域の皆様が訪れたい、親しみやすい学校環境をつくります。

活動を具現化するためのポイント

3 連携と協力を深める

目指す学校づくりに向けて、保護者・地域の皆様との関わり合いと連携を深め、神戸っ子応援団等と協力して行う活動を進めます。

活動を具現化するためのポイント



■ 今後のスケジュール

令和3年12月 第1回会議：

- ・（仮称）開かれた学校づくりの指針等について

令和4年1月 第2回会議：

- ・開かれた学校づくりの指針 素案の提示

2月 素案について学校の意見聴取

3月 第3回会議：

- ・開かれた学校づくりの指針（案）確定



BE KOBE



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE 

- Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008



○「社会に開かれた教育課程」の実現

- ▶ 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと
- ▶ これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと
- ▶ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること

